

今月第21号は京都部京都トップスクラブの新山 兼司ワイズにご登壇いただきます。



リーダーとは!?

京都部京都トップスクラブ
新山 兼司ワイズ

この度、EMC 事業通信特別号の貴重な紙面をお借りして、EMC 事業について述べさせていただく機会をいただきありがとうございます。そこで、去る4月13日(土)に、我が京都トップスワイズメンクラブが次期に備えて開催しました、クラブ次期役員研修会(2019-20年度)においてお話をいただいた内容を、ここにもう一度掲載させていただき、ご高覧いただくことにいたします。

リーダーの役割

リーダーとは、ただ人を惹きつけるだけではなく、具体的にクラブの意識共有や目標達成までの道筋の提示を行い、与えられた任務を遂行する役割です。結果はもちろんの事、同時にクラブ全体のモチベーション維持や個々の成長も考えなくてはなりません。そこで、優れたリーダーに求められる5つの要素についてまとめてみました。

1. 明確なビジョンを提示し、クラブ会員全員のモチベーションを高める

プロジェクトの内容や目標、そして達成の為の道筋、リーダーにはまずそれらを明確に提示する能力が求められます。その為には、過去・現在・未来という時間軸と、人材や能力・費用などの物理的な軸の両面からビジョンを描く事が大切です。過去のこういった実績を元にプロジェクトが計画され、現在こういった現状なのか、そして未来のどこにゴールを置いているのか。具体的にクラブ会員全員が共有できるようにしなくてはなりません。そして、それぞれのポイントで誰がどういう役割をするか、どれだけのマンパワーや、経費などが必要なのか、示すようにしましょう。そうすれば一人一人が自分の役割や、必要性を理解できます。クラブ会員全員が「自分が必要とされている」と思えるビジョンを提示することが必要です。

2. コミュニケーション手段を意識して使い分ける

ビジョンを提示したら次は、それを伝えるコミュニケーション能力が必要です。

「なぜこのプロジェクトを行うのか」「それによって何がもたらされるのか」それをクラブ会員全員に伝えなくてはなりません。ポイントは全員に同時に伝える際と、個別に伝える際には、コミュニケーションの方法が違うということを、意識する点です。

例会などで全員に内容や目標を伝える際には、出来るだけシンプルで分かりやすい言葉を使うこと。簡潔にまとめることを心掛けましょう。誰にでも分かる事、そしてリーダーの熱意を伝えることが大切です。そのうえで、個別のコミュニケーションでは細かく「なぜこの事業に君が必要なのか」を伝えましょう。ここでは、感情的な熱意よりも、論理的に「君の

能力がこの役割に適正である」「この役割によっては、クラブの成長と何よりも君が大きく成長する可能性がある」などの具体的な点を強調しましょう。

3. 信頼を得るためのブレないポジショニング

リーダーに「ついていこう」と思わせるためには、リーダーのポジショニングがブレない事が大切です。そのために最も重要なのは、誠実さだと言えるでしょう。個々の会員には、性格の違いがあり、全員と合わせることは難しいものです。しかし優れたリーダーは、それを切り離してクラブ会員全員に対し誠実でなくてはなりません。

具体的には、和を重んじる。成果は自分のものではなく、クラブ会員全員のものだと認識する。おごらない、客観性を持つ、特定の委員に肩入れしない、といった中立性です。リーダーが常にブレずにいることが、クラブ全体の協調性向上にもつながります。

4. リーダー自身が創造的・挑戦的であること

成長しようとしないうリーダーに「成長しろ、挑戦しろ」と言われてもクラブ会員はついてくるでしょうか。自己の成長の為に研鑽を怠らないことも、優れたリーダーの条件です。その為には、自分の長所と短所を理解し、長所をさらに活かす方法と、短所を補う努力を考える事が大切です。また、リーダーが創造的・挑戦的であれば、クラブ会員も創造的なアイデアを出しやすくなります。逆にリーダーが保守的だと、せっかく委員の皆様が、新しいアイデアや能力を持っていたとしても、それぞれが活かされない場合があります。まずリーダーが失敗を恐れない姿勢を持つことによって、クラブ会員もその姿勢を持つことができるのです。

5. 会員の長所を伸ばす育て方を意識する。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」という山本五十六の言葉にもある通り、褒めて長所を伸ばしていくことは、人を育てるうえで非常に大切です。この言葉には、会員を育てる時の基本プロセスが詰まっていると言えるでしょう。「手本を見せる」「説明し、また会員の疑問に答える」「実際にやらせる」「結果がどうあれ、その会員の動きの中から長所を見つける」こうしたプロセスです。

まとめ

常にリーダー自身も成長と自己確認を意識する事が大切です。自分の資質と5つの条件を照らし合わせ、より良いリーダーシップについて参考にして見て下さい。

ご清聴ありがとうございます。

(京都部元部長、西日本区元 EMC 事業主任)